

2016年10月28日
株式会社みずほフィナンシャルグループ

LGBTへの取組評価「PRIDE指標」において最高評価「ゴールド」を受賞

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：佐藤 康博）は、2016年10月26日、LGBTに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体wwP(work with Pride)による、LGBTなどの性的マイノリティに関する取り組みの評価「PRIDE指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しましたのでお知らせします。

「PRIDE指標」は、各企業・団体等の、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するもので、日本で初めてのLGBT施策評価指標です。当社は、5つの項目全てにおいて高い評価を得ました。

〈みずほ〉では、社員一人ひとりが「やりがい」や「誇り」を感じながら活躍し成長し続けることを目指す『人事運営の抜本的改革』に取り組んでいます。その重点戦略の一つとして「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」を掲げ、2016年6月には「ダイバーシティ&インクルージョン ステートメント」にて、LGBTに関わる福利厚生の見直し、相談窓口の設置、社員向け研修の実施等を公表しました。

〈みずほ〉は、社員全員が100%の力を発揮しながら長く活躍し、多様な視点や発想の積極的な取り入れにより、革新性や生産性向上といった新たな企業価値の創造ができるよう、引き続き環境整備や意識改革に努めていきます。



PRIDE 指標「ゴールド」

以 上